

# 【第1号議案】 2025年度

## 事業報告・決算報告・監査報告承認の件

### 2025年度事業報告

(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### 1、フードバンク事業

フードバンク事業では、まだ食べられるのにさまざまな理由で廃棄される食品を個人や企業から寄贈してもらい、食の支援を必要とする生活困窮世帯や低所得で子育てするひとり親・ふたり親家庭への食のセーフティネット事業を支える。また地域の福祉団体などへ寄贈食品の無償提供を行う。

##### (1) 2025年度入庫（食品寄贈2026年3月まで）集計（単位kg）

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(kg)	2024年度
イベント							7	10				37	54	108
企業・団体	2,324	621	647	1,488	822	392	1,135	1,020	1,017	1,705	1,271	1,629	14,071	12,008
購入			174	10	2	30	122	35	403	21	429	180	1,406	872
市民	192	254	158	229	355	212	191	201	434	177	83	152	2,638	3,223
常設	125	177	215	345	242	121	104	218	313	241	140	242	2,483	2,190
生協	144	115	240	276	235	368	223	239	199	196	538	305	3,078	2,933
廃棄	-9	-24	-13	-9	-8	-18	-7	-3	-11	-9	-17	-7	-134	-226
総計	2,776	1,143	1,421	2,339	1,648	1,105	1,775	1,721	2,355	2,331	2,444	2,538	23,596	21,108

2024年度は、団体設立以来はじめて食品寄贈量が減りましたが、2025年度は2トン増の約23トンでした。企業・団体は2トン増ですが、政府備蓄米4.2トン（昨年1.2トン）を受け入れたことで寄贈量が増えました。

物価高の影響か、引き続き全体に寄贈は低調傾向です。企業・団体からは災害備蓄品が多いことから、子育て応援の提供食品では東京都フードパントリー補助金を活用して年間1.4トン購入しました。

\*政府備蓄米（フードバンク枠）：2025年3月～8月1トン交付、2025年10月～2026年3月3トン交付  
 政府備蓄米（こども宅食枠）：7月480kg交付 2025年度政府備蓄米交付受領 合計：4,230kg

##### ① 市民寄贈

家庭で使わない食品や購入してフードバンク市庁舎作業所、事務所/倉庫への持ち込み、宅配便で届く市民の寄贈食品は約580kg減りました。しかし野菜195kgを寄付される地元の農家さんなど、個人でお米や必要な食品などを購入して寄贈される常連寄贈者の支援が多くありました。

購入寄付の「Amazon欲しいものリスト」からの寄付は、金額換算で約1万円増でした。

##### \*2025年度Amazonほしいものリスト寄贈状況（円換算）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月	合計	前年度
9,976	13,278	25,977	66,017	37,739	18,904	25,909	40,279	20,433	38,026	36,814	52,538	385,890	375,563

## ② 常設寄贈受付場所

2024 年度は正吉苑二番館、市役所ロビー、コープ調布染地店、賛助企業のアクアクララメトロポリタンの敷地内にも寄贈ケースが設置されるなど、食品を寄付できる場所が増えて寄贈量の確保に大きな力になると期待されましたが、前年度より約 300 kg 増えた程度でした。

常設寄贈場所	総重量 (Kg)	うち米	前年度 総重量	前年度 うち米
狛江市役所	910.5	153	960.7	172
社会福祉協議会（あいとびあセンター）	579.0	138	489.9	94
こまえ苑	204.5	16	182.0	55
こまえ正吉苑	161.7	40	119.0	14
こまえ正吉苑二番館	59.5	0	15.7	0
ふらっとなんぶ	70.3	28	40.3	13
岩戸地域センター	236.7	14	254.0	31
上和泉地域センター	116.5	20	99.9	36
アクアクララメトロポリタン（11月新設）	120.5	7	28.4	0
合計	2,459.2	417	2,189.9	414

## ③ 企業・団体

全国フードバンク推進協議会によるマッチング企業のコカ・コーラボトラーズジャパン、JA 全農酪農部、アサヒグループ食品などをはじめ、堀口珈琲や天理教江東分教会など市内の企業・団体、ファミリーマート 2 店舗、カーブス 4 店舗、ダイエー 3 店舗のフードドライブ品の寄贈も受けた。また、こどもサポート証券ネットなども活用した。都内のダイエー 3 店舗は昨年 10 月以降、その地域のフードバンクや社協につなぎ、食品を受取ってもらうようにすすめてきた。

市内の団体によるフードドライブは、商工会青年部がイベント時に、1 月に狛江市社会福祉法人連絡会（8 法人 11 事業所）で実施し、寄贈を受けた。（株）東都では夏・冬・春休み支援にあわせて社内フードドライブに取り組み、和泉小学校では今年度も児童が SDGs 委員会でフードドライブを実施して冬・春に寄贈を受けた。三田国際学園高校の学園祭でもフードドライブが引き継がれた。賛助団体 3 色パステルアートの購入寄贈や、おてらおやつクラブ傘下の寺院からの継続した寄贈も続いている。

※ 企業による常設フードドライブからの寄贈実績

\* 「ファミリーマートフードドライブ」は企業・団体に区分されます。（単位：kg）

店名	重量	うち米	前年度	前年度うち米
ファミリーマート狛江東和泉店	148.9	35	114.9	18
ファミリーマート東野川二丁目店	142.3	40	185.2	39
合計	291.2	75	300.1	57

\* 「ダイエーグループ店舗フードドライブ」は企業・団体に区分されます。（単位：kg）

店名	重量	うち米	前年度	前年度うち米
ダイエー三軒茶屋店（2025年9月まで）	234.6	9	199.6	5
ダイエー幡ヶ谷店（2025年10月まで）	117.0	8	224.3	22
フーディアム下北沢店（2025年9月まで）	235.3	33	454.3	17
合計	586.9	50	878.2	44

2024 年度食品等を寄贈いただいた企業・団体一覧 敬称略・順不同

生活協同組合コープみらい	ALSOK(株)	JA 全農酪農部
KOYO 証券(株)	NTT インフラネット(株)	狛江三田会
NTT 研究所	あかつき証券(株)	三田国際学園 Irenic フードドライブ
アサヒグループ食品(株)	あまね訪問看護ステーション	イオントップバリュ(株)
一般社団法人日本最適化栄養食協会	岩井コスモ証券(株)	塩水港精糖(株)
岡三証券(株)	オタフクソース(株)	カーブスアメリカ稲城店
カーブス上野毛店	カーブス狛江駅前店	カーブス祖師谷大蔵
カルゲン製薬(株)	極東証券(株)	栗山会計事務所
コープ調布染地店	コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	狛江市安心安全課
狛江市猪方学童保育所	狛江市健康推進課	華厳院(おてらおやつクラブ)
狛江市商工会青年部	狛江ハイタウン防犯防災委員会	西光寺(おてらおやつクラブ)
社会福祉法人連絡会 8 法人	創価学会	ダイエー三軒茶屋店
ダイエー幡ヶ谷店	大和ハウス工業(株)東京西支店	正受院
テルウェル東日本(株)	天理教江東分教会	東都生活協同組合
日産証券(株)	日清食品(株)	農水省
野村証券(株)	パルシステム東京狛江センター	ファミリーマート狛江東和泉店
ファミリーマート東野川二丁目店	フーディアム下北沢店	フードバンクむさしの
宝林寺 (おてらおやつクラブ)	堀口珈琲	マネックス証券(株)
まもりやま工房	マルコメ(株)	丸三証券(株)
南下睦会	武蔵野市役所	明治ホールディングス(株)
森乳業(株)	ユウキ食品(株)	楽天証券(株)
(株)幸田商店	(株)サンエー	(株)だいこう証券ビジネス
(株)東都	(株)日清練乳	御台橋商栄会
(株)プランニングオフィス SMS	(株)三菱 UFJ 銀行	(株)明治アドエージェンシー
(株)三越伊勢丹ホールディングス	行政書士法人オンオールサイズ	日本最適化栄養食協会
(有)オフィス高田	和泉小学校 SDGs 委員会	

④ イベントでのフードドライブ

昨年 11 月の「こまエコまつり」でのフードドライブでは、10 kg 食品寄贈があった。また 3 月パルシステム東京狛江センターまつりにも参加し、フードドライブを実施して 37 kg の食品が集まった。

⑤ 生活協同組合による支援

お米の調達に難しいことから、年度当初はロングライフパンや、カルローズ米になる一時期あったが、11 月以降コープみらい、パルシステム東京狛江センターからも国産米の寄贈を受けた。東都生協のフードドライブは今年度も 2 回、9 月と 2 月の寄贈を受け、「未来につなぐ募金」で 5 万円相当の商品寄贈を受けた。またコープ調布染地店のフードドライブ食品も寄贈されるなど、2025 年度も生協の連携を受けて食料支援事業が支えられている。

\* 生活協同組合寄贈実績 (単位: kg)

生活協同組名	重量	うち米	前年度重量	前年度うち米
コープみらい	2,115.6	1,923	1,820.7	1,795
コープ調布染地店 常設フードドライブ	267.1	100	219.9	40
東都生協フードドライブ	370.8	41	484.4	34
パルシステム東京狛江センター	324.2	185	640.0	640

## ⑥ 廃棄となる食品

市民寄贈やフードドライブでは、賞味期限切れや封を切っているもの、期限不明食品は廃棄処分としている。

### (2) 地域の福祉団体への食品提供

食堂系団体は食事の提供やお弁当の配布だけでなく、様々なイベントも開催されている。一時お米の提供を制限した時期もあったが、お米の他お菓子や調味料など喜ばれている。ごはんと居場所の連絡会には、オブザーバー参加して情報を共有している。今年度、世田谷区社会福祉協議会の紹介を受けてつながった世田谷の3食堂系団体(砧子ども食堂そら豆・子ども食堂ごはん村・たまがわ子ども食堂)からも、取りに来てもらい提供している。高齢者へのアウトリーチのため、地域包括の支援相談員を訪問して食に困る高齢者に寄贈食品の提供を依頼した。他の福祉団体への食品提供も含めて、前年度と同程度の支援ができた。

2025年度出庫集計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
団体(総重量 kg)	385	420	534	349	452	251	376	272	615	568	491	685	5,399	6,195
うち米	30	20	33	15	5	20	195	10	273	177	142	177	1,097	376
件数	7	12	11	10	12	9	15	10	16	9	10	16	137	134

\* 主な食品提供団体

子ども・おとな食堂系	ごはん+居場所おかえり	月末食堂	みんなの居場所	ひかりっこ食堂	こまち	砧そら豆	ごはん村	たまがわ食堂
障がい者・高齢者施設	こまえ苑	足立邦栄会	こまえ通り	ひなた会	ハンズプレイス	グループホーム朋	共生の家	えるぶ
子ども・困窮者支援他	プレイパーク	こまえ派遣村	タルトタタン	一時宿泊所 若葉荘	青年会議所	まなびや		

## 2、食のセーフティーネット事業

食のセーフティーネット事業とは、狛江市との食料支援連携協定により、さまざまな理由で一時的に困窮し、食の支援を必要とする世帯へ、生活困窮自立相談窓口「こま YELL」からの依頼書を受け、世帯に合わせ食品を提供する事業と子育て世帯で低所得のひとり親・ふたり親家庭を対象に、学校給食のない時期に食料を提供する食料支援事業。また年4回学習支援をうける子どもたちにお菓子や飲料も提供している。

### (1) こま YELL を通じた食料支援

① 生活困窮者自立支援窓口「こま YELL」への食料提供は、毎週月曜・木曜の午後1時から3時、市庁舎作業所で食品寄贈受付と、こま YELL の依頼書をもとに世帯に合わせた食品セットをして提供している。

提供件数は、2025年度春から自立相談の支援基準がさらに見直されて、基本1ヶ月を支援の原則として、次月も食料支援を必要とするかは再度検討して提供としたからか、2024年度月平均85件から38件に依頼数は激減した。

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2024年度
総重量	406	355	215	166	213	270	229	255	202	258	225	204	2,998	5,513
依頼提供量	385	313	204	108	185	233	189	215	157	203	214	172	2,578	5,154
うち米	101	81	44	20	40	89	75	54	35	42	63	42	686	1,435
件数	62	42	29	15	40	46	41	39	31	43	39	31	458	1,025
備蓄用	20	40	10	58	27	37	38	37	38	55	11	32	403	346
うち米	4	3	1	8	6	10	14	10	8	10	6	12	92	96
件数	8	15	4	17	9	12	13	11	14	18	4	11	136	127

(単位kg)

② 学習支援を受ける子どもたちへ、年4回お菓子・飲料を提供している。こま YELL は小・中高生の相談支援対象家庭、子ども若者政策課は小4～高校生までのひとり親家庭の子どもたちへの支援を行っている。

		夏休み	ハロウィン	クリスマス	春休み	合計	前年度
こま YELL 学習支援	件数	28	18	18	24	88	110
	お菓子・飲料提供量	27.5kg	22.1kg	17.5kg	21.6kg	84.1kg	106.9kg
子ども若者政策課 学習支援	件数	25	17	17	24	83	122
	お菓子・飲料提供量	25.3kg	17.5g	16.8kg	21.6kg	80.5kg	121.2kg

(2) 「学校給食のない時期」食料支援で、子育て応援と不定期で「おすそ分けお渡し会」にも取り組む

子育て応援の支援対象は、夏休み支援では狛江市の7月末の就学援助受給決定通知書発送時と児童扶養手当現況届提出案内の発送時に同封する「子育て応援食料支援案内」に申込まれた世帯で、冬休み時期は夏休み支援世帯と12月ひとり親医療証書送付時に同封する案内から、申し込んだ世帯に食品を提供する。3月の春休み支援は、夏・冬休み支援の申込み世帯にメールで案内して実施している。

夏休み支援174世帯、冬休みには168世帯、春休みは149世帯から応募があり、配送と直接受渡しで食品を提供した。物価高が家計を圧迫している状況が続いていることから、4月・5月・7月・9月・10月・2026年1月の6回、子育て応援に申し込んだ世帯に、一斉メールで「おすそ分けお渡し会」の申込を受け付けて実施した。

寄贈食品が減っていることで提供食品が少ないなか、夏休み・冬休み支援は農家さんからの地元野菜の寄付を受けて喜ばれた。お米の不足から、政府備蓄米の交付を受けて確保できたが、調味料やインスタント麺、缶詰など食材の不足分を東京都フードパントリー補助金で買い足し、全国フードバンク推進協議会のマッチング企業の日用品なども提供した。

2018年のひとり親支援から始まった子育て応援事業も8年目を迎え、子育て世帯とも顔見知りになってスタッフとの交流などもあり、この事業が子育てへの励みや支えになっていると感謝の声がアンケートで多く書かれている。お渡し会では子ども連れで取りに来る方も多くなり、恒例となったお米やお菓子が当たる抽選会は好評だった。

寄贈食品に災害備蓄食品が多く入るため、スタッフで味見をして美味しく食べてもらえるよう、ジャムをつける等、今後も工夫して活用していきます。

2025年度(前年度) 学校給食のない時期の食料支援 支援世帯数・人数				
	世帯数	親+子供数	18歳以下人数	食料支援量 kg
2025年夏休み	174 (182)	520 (567)	294 (332)	2,511 (1,973)
2025年冬休み	168 (168)	477 (502)	269 (292)	2,440 (1,886)
2026年春休み	149 (160)	428 (490)	239 (284)	2,612

2025年度子育て応援 お渡し会（不定期）									
提供先		4月	5月	7月	9月	10月	1月	計	前年度（5回）
子育て 応援	世帯数	90	90	76	98	73	108	535	432
	食料支援量 kg	419	1,079	832	973	547	503	4,353	2,113
	（内米 kg）	270	218	234	600	365	338	2,025	1,344

(3) 子育て応援親子体験会を開催

8月23日、「3色パステルアートの体験会」を親子6組（お子さん9名）とスタッフも参加し、夏らしい作品作りを楽しみました。

### 3、フードバンクの普及・啓発事業

広く食品ロス削減を呼びかけ、ロス食品を生活困窮者支援に活かす地域の「食の分かち合い」をフードバンク活動として提起し、地域に発信することを通して共に支え合う心豊かな地域社会を創ることを目的に、啓発活動を行う。

10月食品ロス削減月間やフードドライブで以下の広報・啓発活動を実施しました。

- ① 10月12日（日）上和泉地域センターまつりで、パネル展示・チラシ配布をして食品寄贈を呼びかけた。
- ② 10月23日（木）～27日（月）狛江市消費者月間でパネル展示（市役所ロビー）を実施。
- ③ 媒体を利用した広報活動
  - ・紙媒体

リーフレット	400部	2025年8月 A5判 200、A4判 200
ニュースレター	合計4回 2,550枚	2025年6月 No.43 600 2025年9月 No.44 750 2025年12月 No.45 600 2026年3月 No.46 600
チラシ 公営掲示板・公共施設・ 町内会・スーパー等で掲示 ポスティング	合計5,500枚	2025年5月 1,800枚：夏休み子育て応援食品寄贈 2025年9月 2,000枚：冬休み子育て応援食品寄贈 2025年12月 1,700枚：春休み子育て応援食品寄贈

- ・ポスターの掲示＝和泉エンジニアリングサービス（東和泉）の専用掲示板、OKストアー、籠屋、木村メガネ店頭、理事長宅・支援者宅でポスター掲示。
- ・インターネット媒体

facebook	毎週更新 <a href="https://www.facebook.com/foodbank.komae/">https://www.facebook.com/foodbank.komae/</a>
X（旧 Twitter）	活動日毎に更新 <a href="https://twitter.com/foodbankkomae">https://twitter.com/foodbankkomae</a>
ホームページ	イベントの告知や報告随時更新 <a href="https://fb-komae.org/">https://fb-komae.org/</a>

- ・テレビ、ラジオ、新聞、広報誌

2025年6月13日	狛江のFMラジオ	子育て世帯への夏休み食料支援の食品寄贈呼びかけ
7月1日	広報こまえ	子育て応援夏休み支援の食品寄付呼びかけ記事掲載

9月1日	読売 KODOMO 新聞	「余った食品気軽に」取材、11日発行
11月1日	広報こまえ	子育て応援冬休み支援の食品寄付呼びかけ記事掲載
11月14日	狛江の FM ラジオ	子育て世帯への冬休み食料支援の食品寄贈呼びかけ
2025年2月1日	広報こまえ	子育て応援冬休み支援の食品寄付呼びかけ記事掲載
	狛江の FM ラジオ	子育て世帯への春休み食料支援の食品寄贈呼びかけ
3月1日	情報誌「わっこ」	社会福祉法人連絡会フードバンクに食品寄贈される

#### 4、フードバンク活動を普及するための調査・研究事業

子育て応援食料支援で申し込み家庭に、アンケートを実施しました。(ホームページに実施報告掲載)

- ・ 夏休み支援 : 1) 世帯年収を教えてください。  
(回答 88/174) 2) 出費のなかで優先するものトップ5つ選んでください。(住居費を除く)  
3) 食品を受け取った感想や寄贈者へのメッセージなど、ご自由にお書きください。
- ・ 冬休み支援 : 1) 日々の生活で、頼りにしている人・助けてもらっている人はいますか？  
(回答 84/168) 2) 家族や生活の中で「ここが大変だな」と感じるがあれば教えてください。  
3) 子どもだけで調理することはありますか？ある場合、どんな調味料を使っていますか？  
4) 食品を受け取った感想など、ご自由にしてください。
- ・ 春休み支援 : 年度を通じて、この支援に関して皆さまがどのように思われているか、自由にしてください。  
(回答 50/149) (詳細はホームページ <https://fb-komae.org/> 子育て応援実施報告書を参照)

#### 5、組織基盤整備と運営について

一年を通じて役員・事務局スタッフメンバーの変更もなく、月1回の事務局会議と理事会を開催し組織体制は問題なく維持できた。LINE・メールを活用し、会議とあわせてメンバー・役員間での情報共有や開所日活動、他のイベントなど取り組めた。平日の開所日活動で、責任をもって担う人材は決まっています、次世代の担い手不足が課題。ボランティアは、学生以外で活動を離れた1名もいたが、2025年度は役員を含めて29名と昨年度より4名増えた。活動はシフト表を作成し、倉庫・事務所、市庁舎作業所を含めて要員を決定し共有しているが、人数が増えて変更も多く、シフトへ反映する手数がかかる。

狛江市との食料支援連携協定により、福祉相談課・こまエールと三者協議を年度当初に開催し、必要に応じて打合せを行った。学校教育課と子ども若者政策課、福祉相談課の3課合同会議も開催して、子育て応援事業の実施状況の共有など事業連携を図った。

##### (1) 倉庫と市庁舎作業所での活動

###### ① 事務所/倉庫での活動。

西野川倉庫・事務所は、市庁舎作業所への配送と常設寄贈所の集荷、企業・市民からの食品寄贈(寄付・会費)受入れ、地域の諸団体の食品受け取り拠点で、子育て応援食品セット・発送や受け取り場所にもなっている。

開所日は事務局長・事務局次長が主軸になり、配送担当と毎回2~3名のボランティアで開所日運営してきた。

寄贈食品の減少、今後の配送担当の担い手不足もあって、車での配送・集荷曜日を2026年度から月曜日のみに変更した。今後の体制をどうしていくのかをさらに考えなくては事業継続が厳しいともいえる。

② 市庁舎作業所の活動。

市庁舎作業所の開所日は、責任者を含めて2～3名で市民からの寄贈食品(寄付)の受入れと仕分け、こま YELL からの依頼書により食品セット、倉庫から配送された食品の仕分け・棚入れ・月末棚卸をしている。月末の棚卸しは、3～4名で食品チェックと在庫管理をしている。こま YELL の依頼が減ったことで、すぐに開所日の食品セット作業が終わってしまう現状が続いている。

**(2) ボランティア・役員の交流・研修**

1月25日(日)には、日頃2カ所での活動で会う機会のない役員・ボランティア・会員の交流の場として、19名が参加して新年会を開催しました。顔合わせることのなかったボランティア同士も会話が弾んで、毎年恒例となっている。

1月29日(木)、市庁舎作業所で食品を提供している市の相談窓口こまエール職員と役員・ボランティアで情報交換会を開催した。学習支援担当相談員も参加されて「不登校ではないが、コミュニケーションの上手いかわいなお子さんが増えている気がします…」と支援する子どもの話や、生活保護と就労支援についての質疑を行った。

**(3) 運営基盤の整備**

① 持続可能な事業活動のために。

2022年度から2年かけて作成してきた以下の規程類に続き、国の「食品寄附ガイドライン」を参考に、昨年度中に当会での食品提供・寄附ガイドラインの策定を目指したが進んでいない。すでに2024年に作成した「食品衛生管理ガイドライン」によって、倉庫の温度管理を含め食品や施設の衛生管理などは、役員・事務局スタッフ・ボランティアと取り組んでいるが、4月から開始された消費者庁のフードバンク認証制度運用を踏まえ、作成する必要がある。

区分	規程・規則名	理事会承認日	施行日
お金に関する規程・規則	役員の報酬等並びに費用に関する規程	2022/3/13	2022/4/1
	経理規定	2023/3/11	2023/4/1
	会計規則	2023/2/11	2023/4/1
	ボランティア謝金規程	2023/3/11	2023/4/1
コンプライアンス関連規程	コンプライアンス規程	2024/4/13	2024/4/13
	倫理規定	2024/4/13	2024/4/13
	内部通報規程	2024/4/13	2024/4/13
事務関連の規程	情報公開規程	2023/3/11	2023/4/1
	文書管理規程	2024/4/13	2024/4/13
	事務局規程	2023/2/11	2023/4/1
食品管理ガイドライン	食品衛生管理ガイドライン	2024/11/23	

② 組織の現状と財政基盤の確立に向けて。

会員の加入状況は、3月31日現在、正会員45名(昨年46名)、賛助会員個人39名(昨年43名)団体

17 団体（昨年 16）で、退会した会員は転居や高齢などの理由でした。今後も会員と支援者の拡大に取り組む必要がある。

今年度はフードバンクへの寄付は 237 万円で、目標の 1 8 0 万を上回りましたが、昨年に続き 2 年連続で三菱 UFJ 信託銀行から 50 万円の大口寄付と個人からの多額の寄付が大きかった。

- ・寄付者総数 : 291 件、寄付総額 : 2,378,823 円（昨年 298 件、2,680,425 円）
- ・団体からの寄付 : 三菱 UFJ 信託銀行、トータス往診クリニック、天理教江東分教会、狛江三田会、狛江高校いちょう会、城南信用金庫、絵葉書で地域の子どもたちを応援する会
  - \* クレジット決済 SQUARE : 延べ 191 人、786,719 円、マンスリーサポーター 16 人
  - \* ブックオフの「キモチと。」からの寄付が、延べ 8 人から 9,606 円あった。
- ・助成金 : 2025 年 11 月 全国フードバンク推進協議会 262,000 円  
2025 年 12 月 MDRT 助成金 100,000 円
  - \* MDRT とは世界で活躍する生命保険募集人のプロフェッショナルが会社の垣根を越えて相互研鑽や社会貢献活動をしている団体。
- ・補助金:2024 年 5 月
  - 狛江市「生活困窮者自立支援機関と連携する NPO 法人に対する活動支援事業補助金」 500,000 円
  - 2025 年 5 月 東京都「令和 5 年度フードパントリー緊急支援事業補助金」 1,400,000 円

## 6、2025 年度活動経過（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

4 月	10 日	創価学会よりお米 300 kg 寄贈受ける
	10・12 日	子育て応援おすそ分けお渡し会
	14 日	福祉相談課・こまエールと 3 者協議開催
	24 日	農水省政府備蓄米 15 0 kg 到着
	10 日	創価学会よりお米 300 kg 寄贈
5 月	1 日	2024 年度事業・決算の監査を実施
	8 日	第 9 回総会の出欠案内と議案書を送付
	22 日	農水省政府備蓄米 15 0 kg 到着
	23 日	松原市長と面談
	24 日	第 9 回通常総会を開催
	29・31 日	子育て応援おすそ分けお渡し会
6 月	4 日	福祉相談課・子ども若者政策課・学校教育課と 2025 子育て応援事業打ち合わせ
	13 日	コマラジ（狛江エフエム）に出演
7 月	1 日	「広報こまえ」食品寄贈呼びかけ記事掲載
	3・6・7 日	子育て応援お米のおすそ分けお渡し会
	17 日	こまエール学習支援にお菓子セット提供
	17 日	パルスシステムよりクロワッサン寄贈
	22 日	夏休み子育て応援申し込み開始
	24 日	政府備蓄米 150 kg 到着
8 月	4 日	食品セット・宅配便送付開始
	6 日	夏休み子育て応援申込み締切り
	9・12・14 日	夏休み子育て応援食品お渡し会
	23 日	3 色パステルアート体験会開催
	25 日	政府備蓄米 15 0 kg 到着
9 月	1 日	読売 KODOMO 新聞取材

	4日	東都生協フードドライブ食品の寄贈引取り
	25・27日	子育て応援お米のおすそ分けお渡し会
10月	12日	上和泉地域センターまつりパネル展示
	23日	政府備蓄米 600kg 到着
	23・26・27日	子育て応援お米のおすそ分けお渡し会
	23～27日	狛江市消費生活者展パネル展示
	26日	三田国際科学学園 Irenic F D 品寄贈
	31日	東都生協団体交流会に参加
11月	1日	広報こまえに食品寄贈記事掲載
	8日	こまエコまつりでフードドライブ実施
	14日	コマラジ（狛江エフエム）に出演
	25日	パルシステムよりクロワッサン寄贈
	27日	政府備蓄米 480kg 到着
12月	1日	冬休み支援食品セット・発送 開始
	8日	こまメール学習支援お菓子セット納品
	11・13・15日	冬休み子育て応援お渡し会
	18日	子ども若者政策課学習支援 Xmas 会
	22日	冬休み支援食品セット・発送終了
	25日	仕事納め
1月	22日	政府備蓄米 480kg 到着
	29日	社会福祉法人連絡会 F D 品引取り/こまメールと情報交換会
	29・31日	子育て応援お米のおすそ分けお渡し会
2月	1日	広報こまえに食品寄贈記事掲載
	13日	コマラジ（狛江エフエム）に出演
	16日	カーブスアメリカ稲城店 F D 品/リロの不動産(株)東都社内 F D 品寄贈受取
	19日	東都生活協同組合 F D 品&カーブス祖師ヶ谷大蔵 F D 品引取り
		パルシステム狛江センターお米寄贈受取
		政府備蓄米 480kg 到着
	26日	春休み支援食品セット・発送 開始
3月	2日	こまメール学習支援お菓子セット納品
	5日	子ども若者政策課学習支援にお菓子セット納品
	7日	パルシステム狛江センターまつりでフードドライブ実施
	5・7・9日	冬休み子育て応援お渡し会
	17日	東京都生協連フードバンク交流会参加
	18日	市民活動支援センター市民講座に参加
	23日	コカ・コーラ ボトラーズジャパン視察訪問
	26日	パルシステム狛江センターパックご飯寄贈

### ※ FD (フードドライブ)とは?

家庭で使い切れない未使用食品を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめてフードバンクに寄贈する活動